

ありがとうおじいちゃん

福岡県 福岡教育大学附属久留米小学校二年 宇治 仁貴

「プルプルプル……」

「あつ！じいちゃん、今でん話しようと思つてたところやつたよ。」

「まちきれんで、でん話したよ。今日は、一日どうやった？」

これが、ぼくと、おじいちゃんのもの、まい日の会話です。

ぼくは、おじいちゃんが大好きです。おじいちゃんも、ぼくが大好きです。でも、おじいちゃんは、とおくのしみにすんでいてたくさんは会えません。

ぼくのおじいちゃんは、りょうしです。夏休みにおじいちゃんのをいえに行くと、おじいちゃんは、いつしよに魚つりをしてくれます。りょうしのおじいちゃんは、とつてもかっこいいです。ぼくが、おじいちゃんに

「まぐるがたべたい。」

と言つたら、すぐにマグロをつつてくれるので、おじいちゃんはまほうつかいみたいです。

おじいちゃんとは、はなれてくらししているけど、まい日でん話で話しているの、いつもいつしよにいるみたいない気もちになります。ぼくがでん話しようかなあと思つていると、ちょうどおじいちゃんからでん話があります。

そして、おじいちゃんと話すと元気がでるので、やつぱりおじいちゃんまほうつかいだと思います。おじいちゃん、いつもでん話してくれてありがとう。つきはせつたいにぼくから先におじいちゃんにでん話して、

「まちきれなくてでん話したよ。」

と言いたいです。それから、おじいちゃんにはいろんなありがとうがたくさんあるので、ありがとうをたくさん言います。

ぼくのゆめは、おいしゃさんになることです。大きくなつて、おじいちゃんがびょう気になったら、ぼくがびょう気をなおしてあげます。だからおじいちゃん、ぼくが大きくなつて、りっぱなおいしゃさんになるまで、ずーつと元気でいてね。

おじいちゃん、たくさんたくさんありがとう。

おじいちゃん、たくさんたくさん大好きだよ。